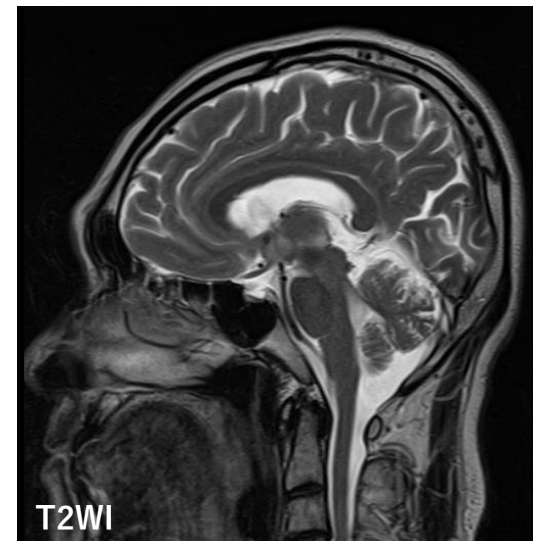
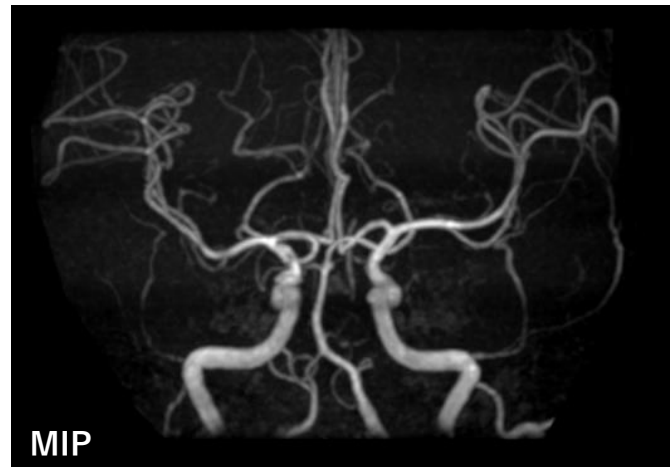
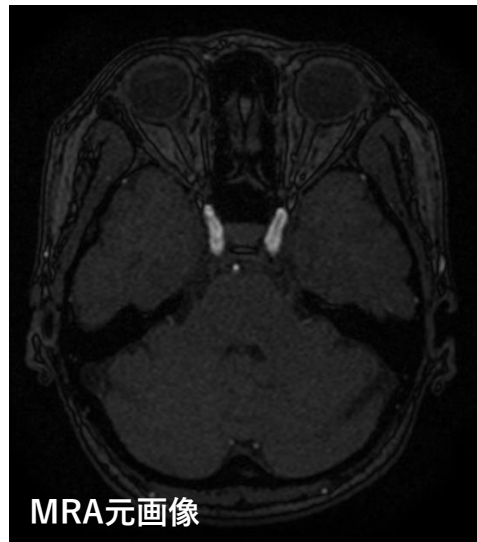
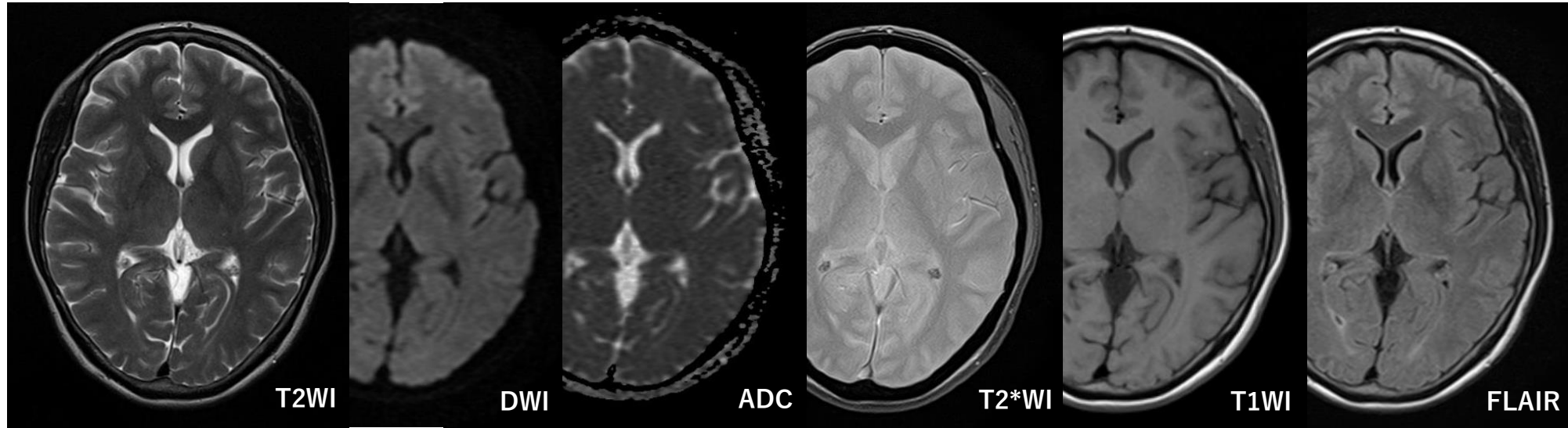


MRI 撮影例

頭部



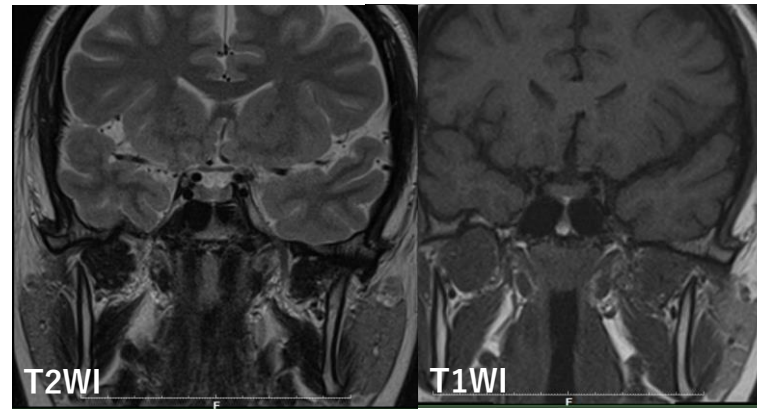
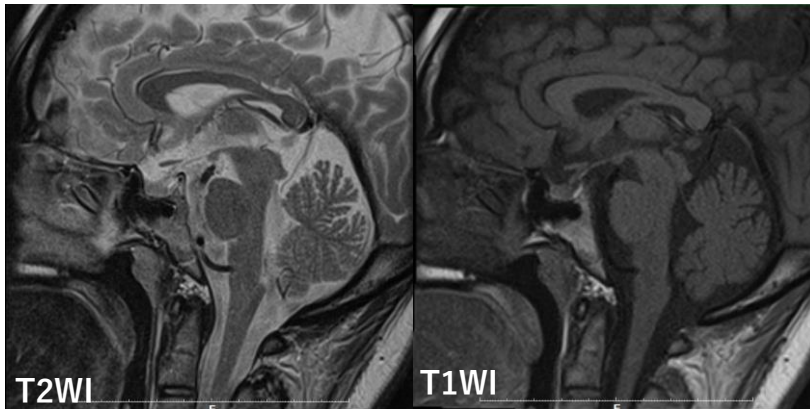
FLAIR

頭部オプション



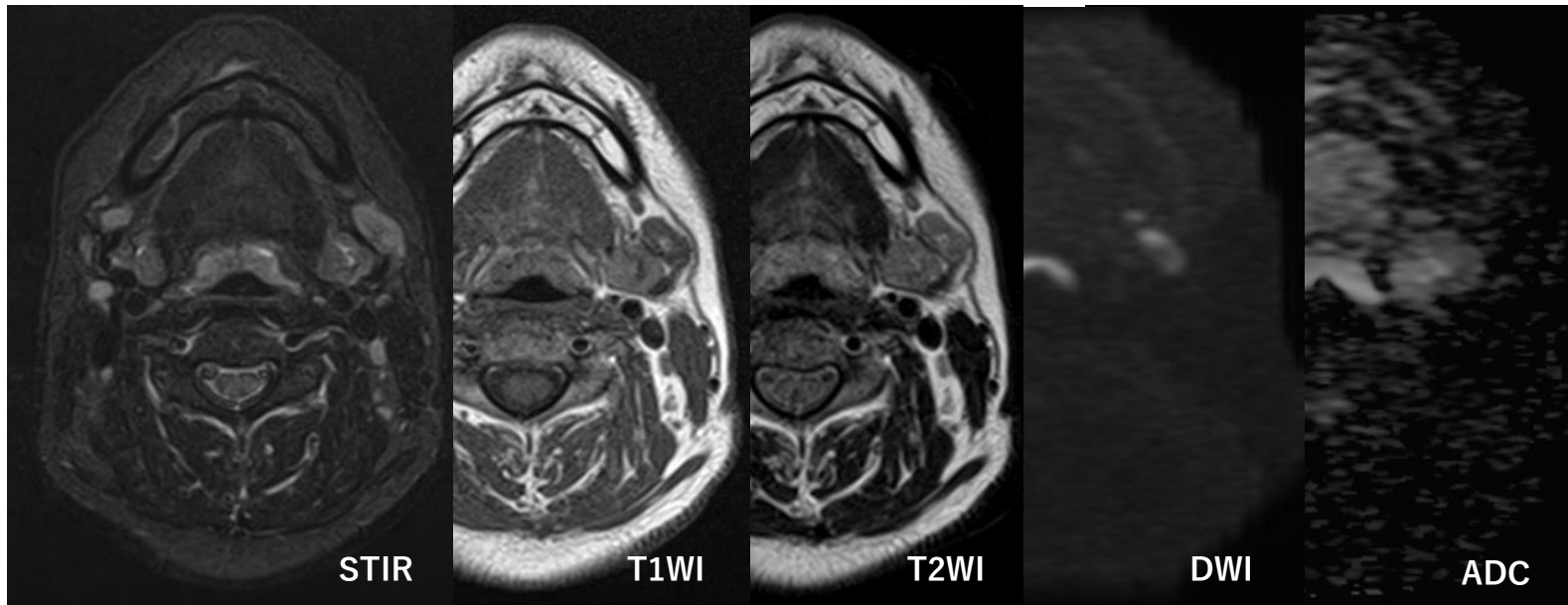
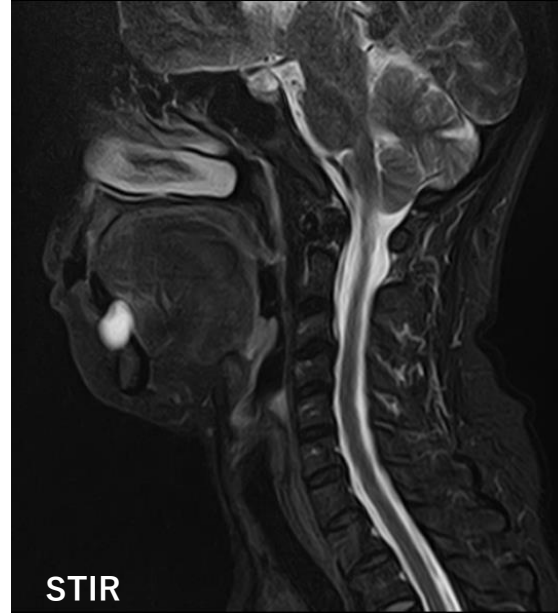
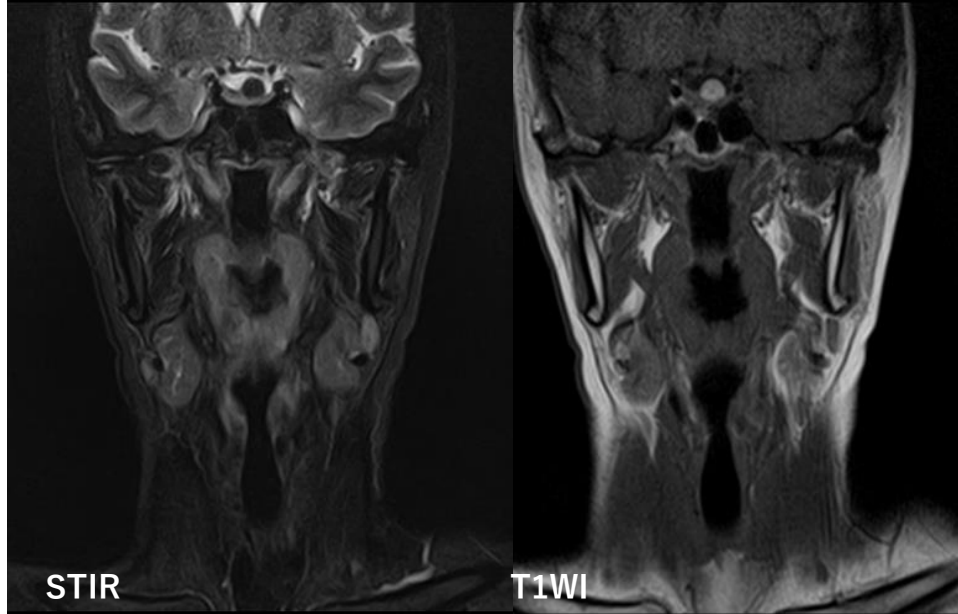
Cisternographyは脳槽を観察しやすいシーケンスです
聴神経腫瘍や小脳橋角部腫瘍などで薄いスライスで確認
したい場合に追加されることが多いです

下垂体

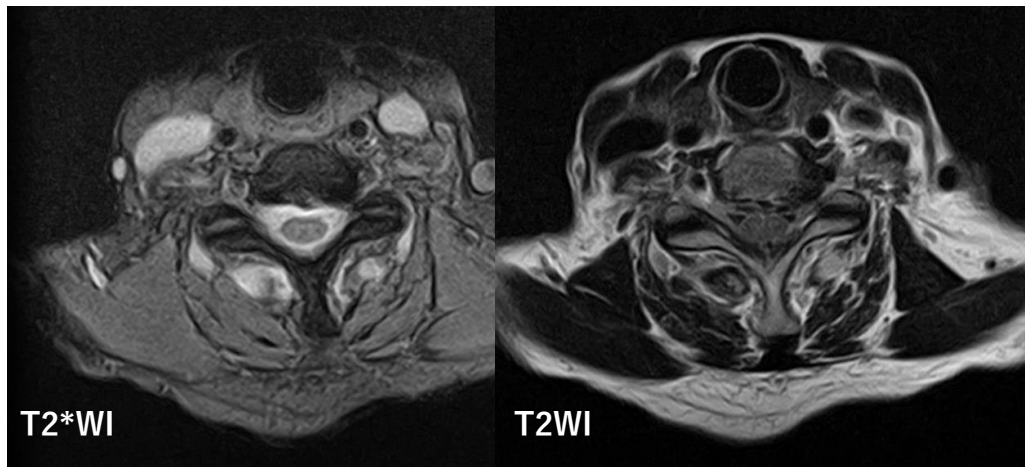
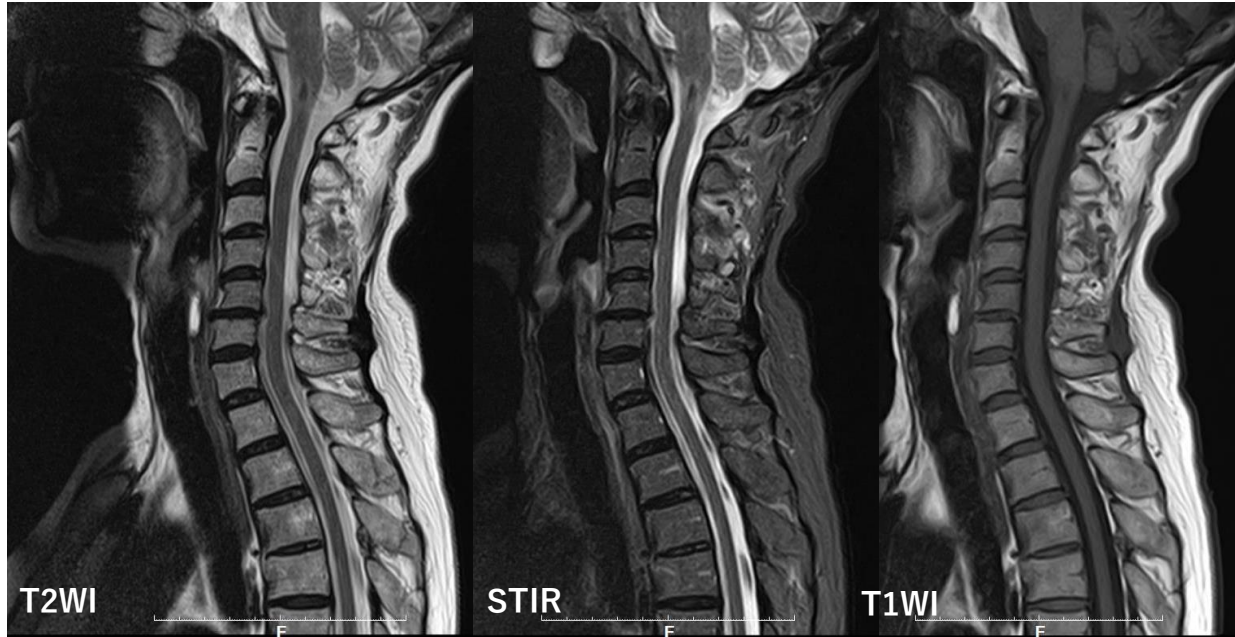


その他にも磁化率強調画像、ASL、MRV等撮像することも可能です。
追加で見たいシーケンスがあれば予約時にご相談下さい。

頸部



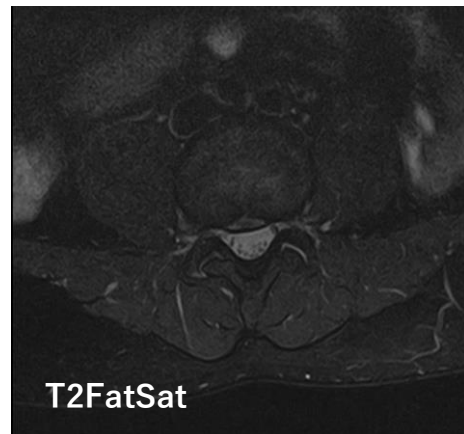
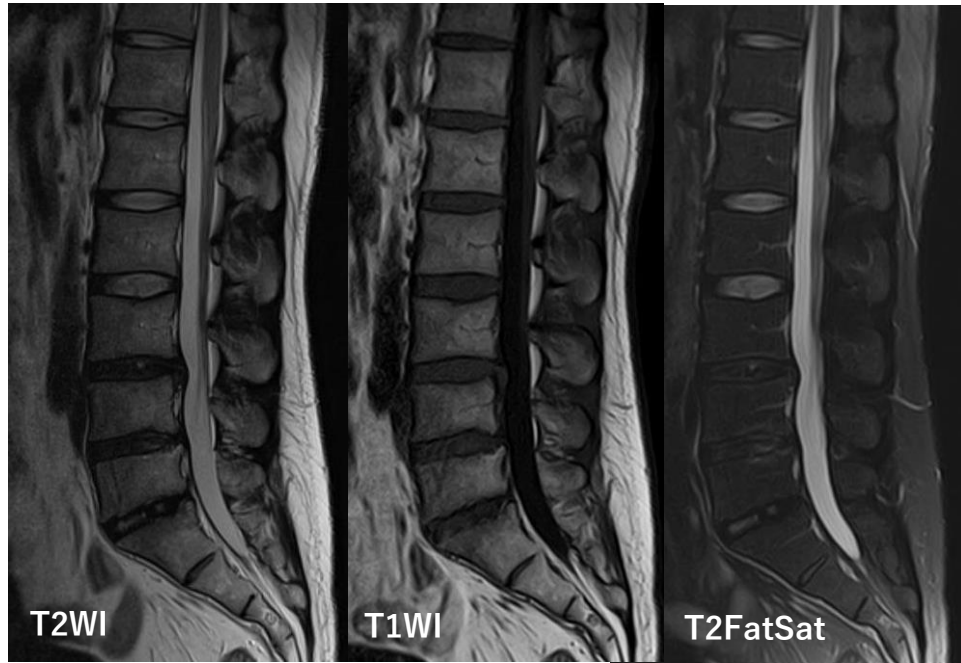
頸椎ルーチン



必要に応じてSTIR Cor、Axiを追加撮像します

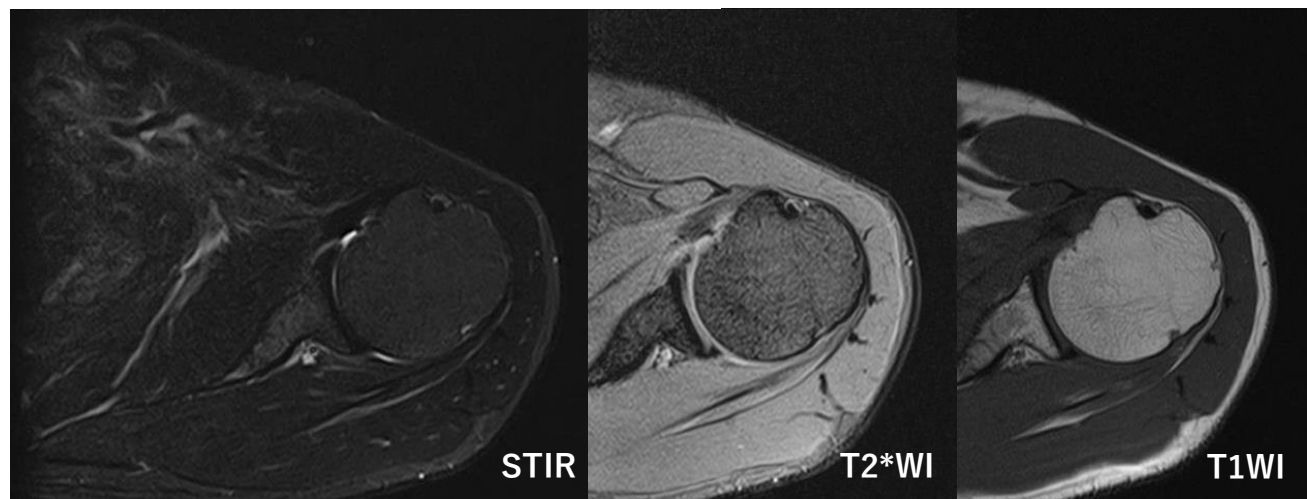
腫瘍を疑う場合はAxiメインでの撮像に切り替えることも可能（その場合DWI、ADC追加）

腰椎ルーチン

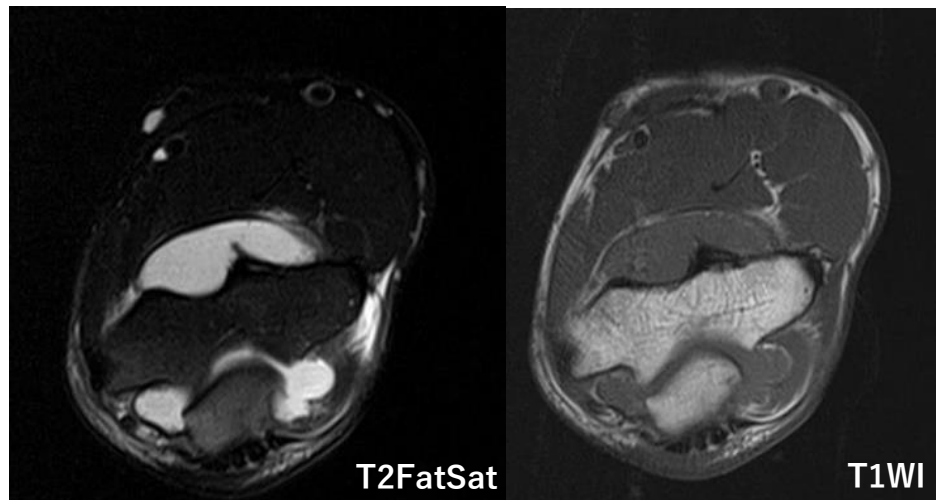


ルーチンで撮像するT2Axiは椎間板を撮像します
骨折等のように脂肪抑制T2強調像で高信号を示すものは
脂肪抑制T2でAxiを追加撮像します
骨腫瘍や腰椎分離症の場合はシーケンスが異なるので記入ください

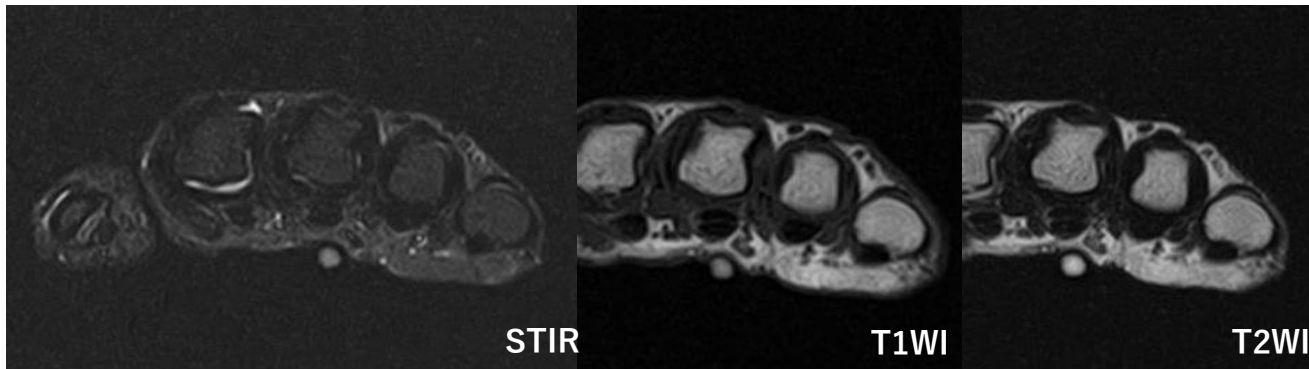
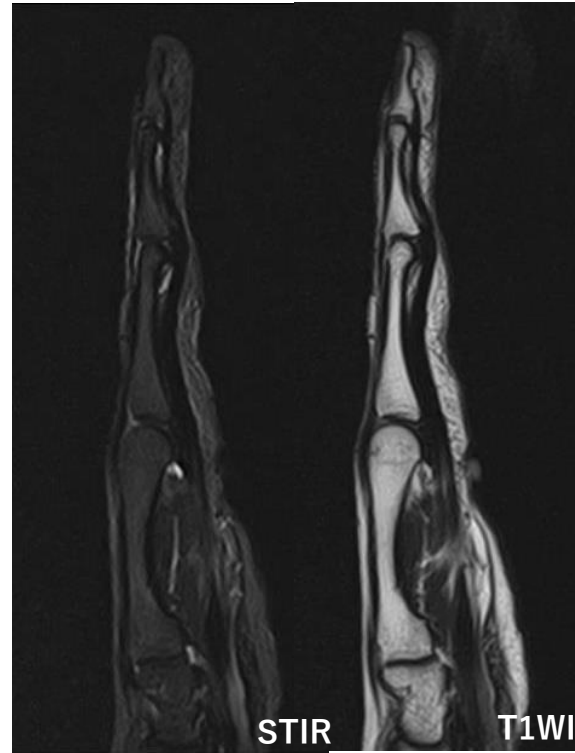
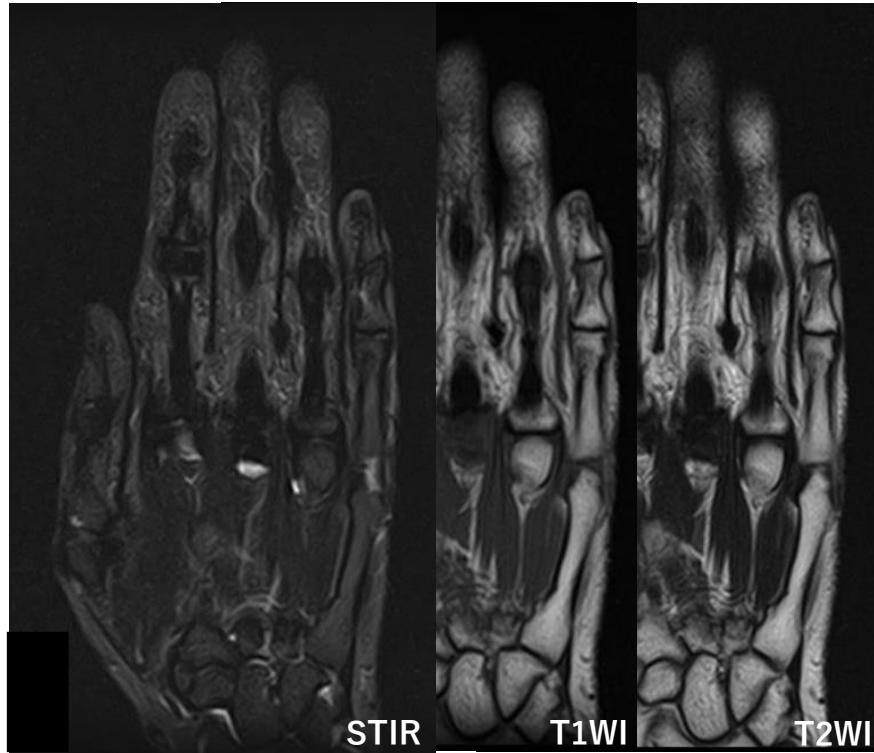
肩関節ルーチン



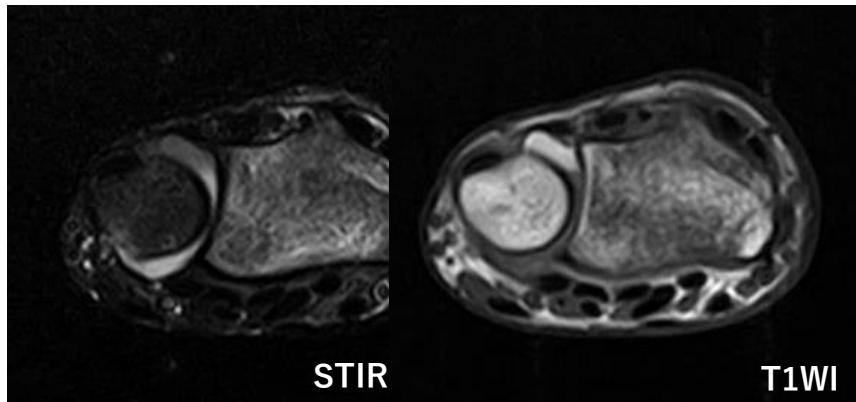
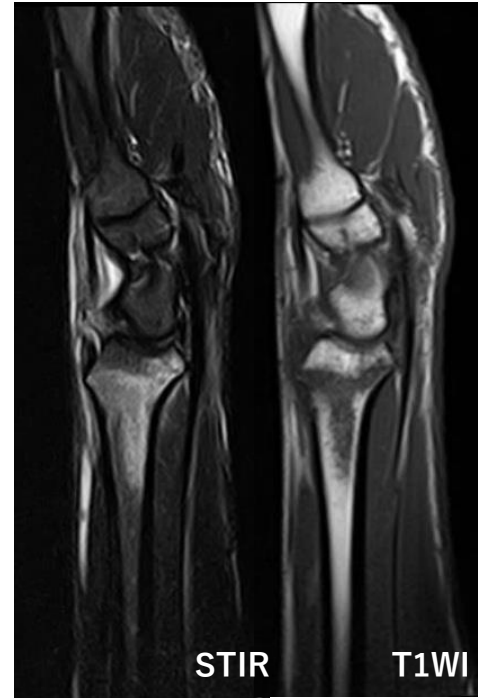
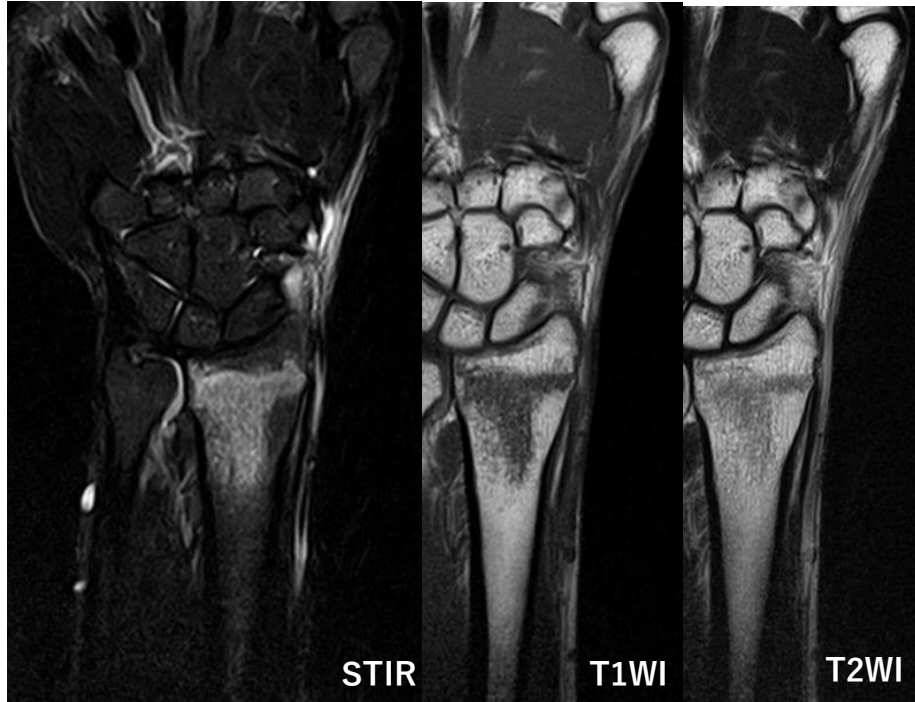
肘ルーチン



手ルーチン



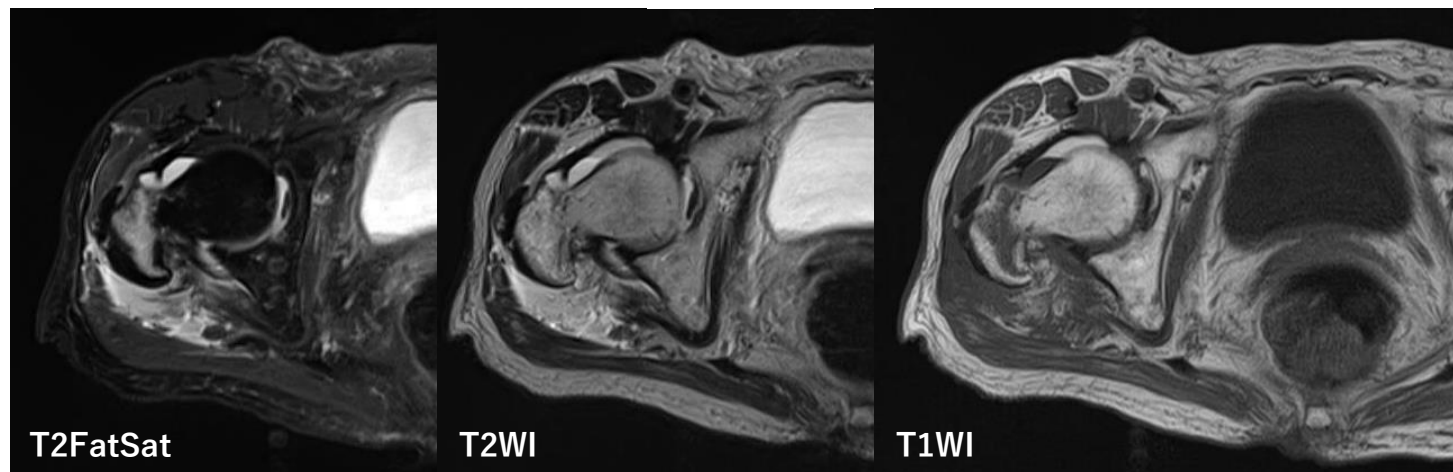
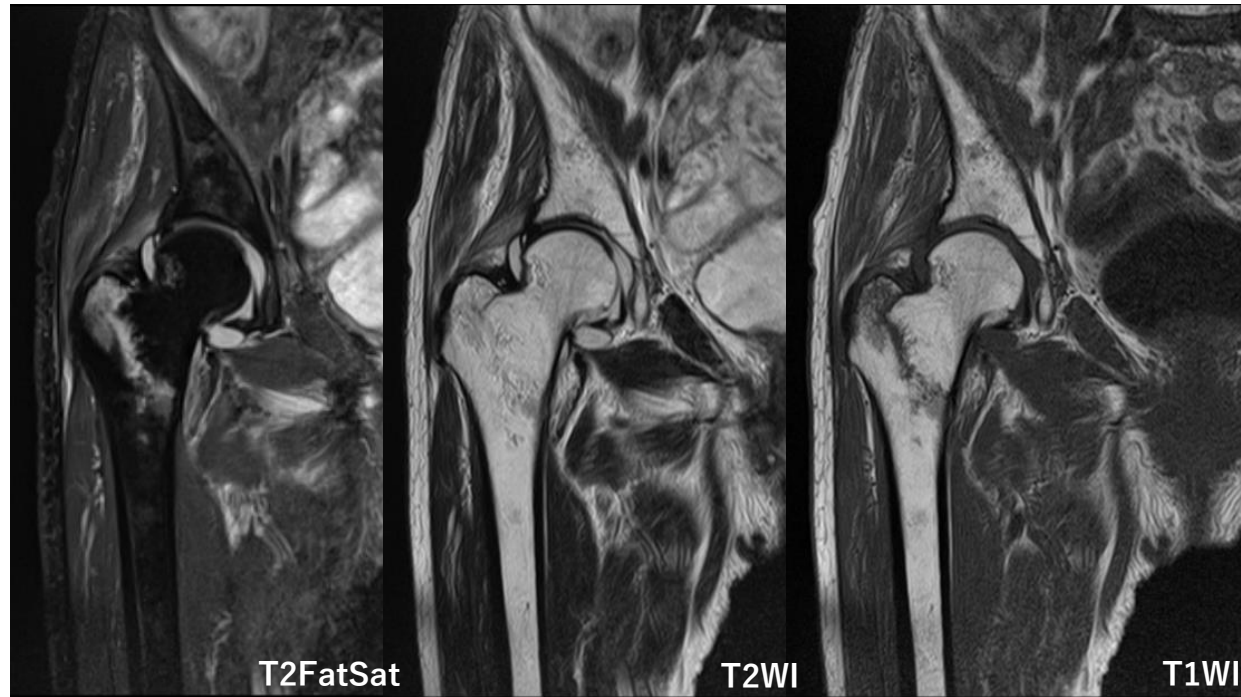
手関節ルーチン



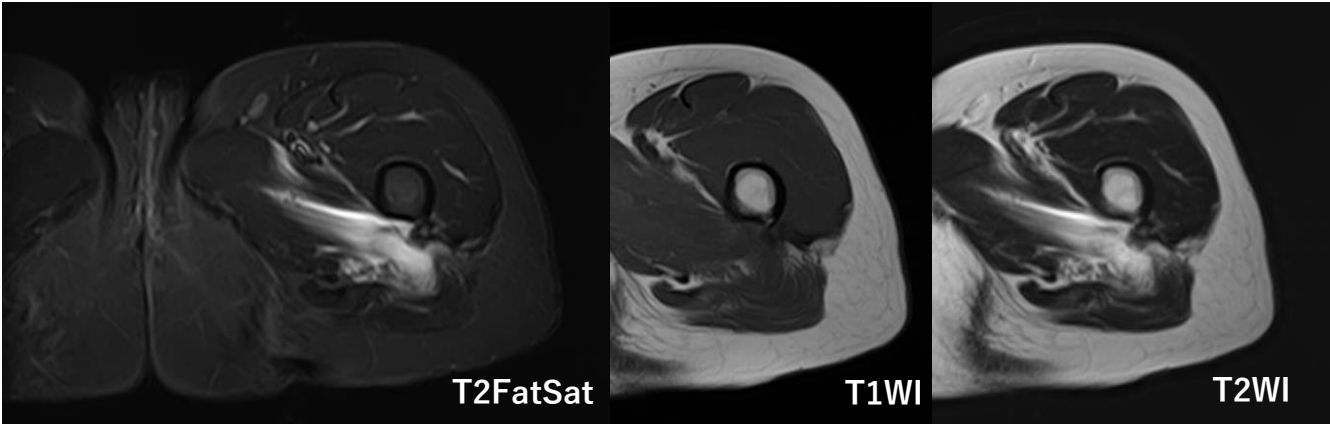
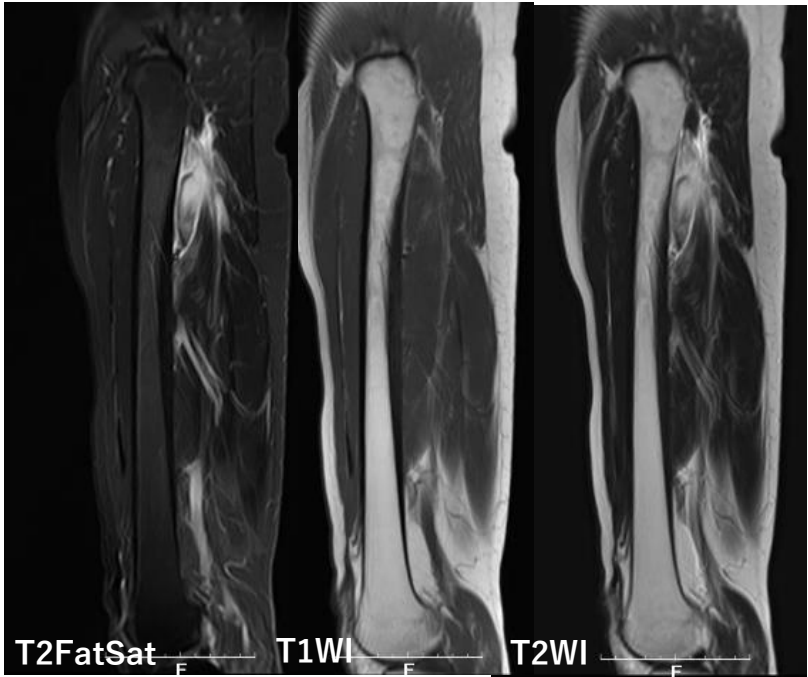
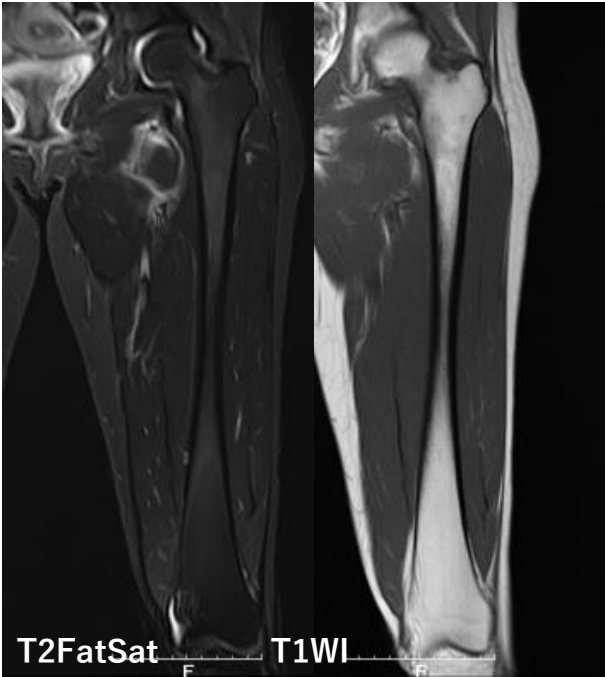
舟状骨折疑いの場合は舟状骨に合わせたAxiを追加撮像します。

靱帯や神経を見たい場合はT2WIをT2*WIに変更します。
必要に応じて3DでT2*WIの撮像も行います

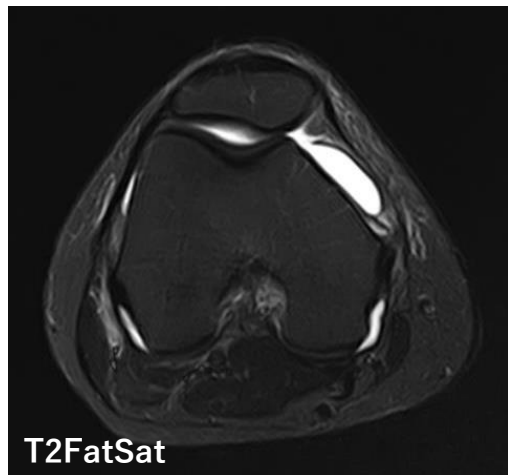
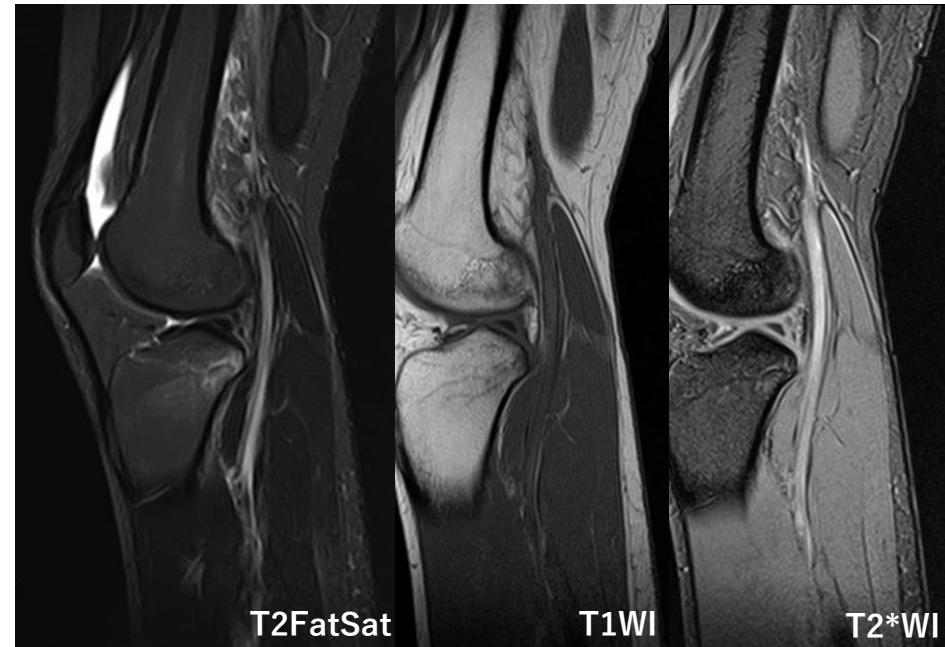
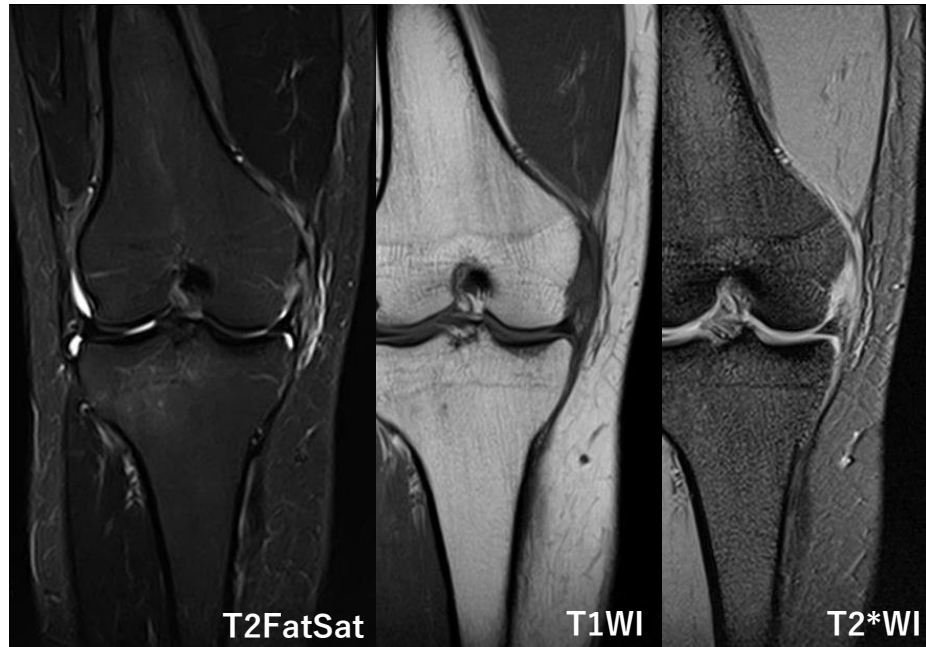
股関節ルーチン



大腿ルーチン

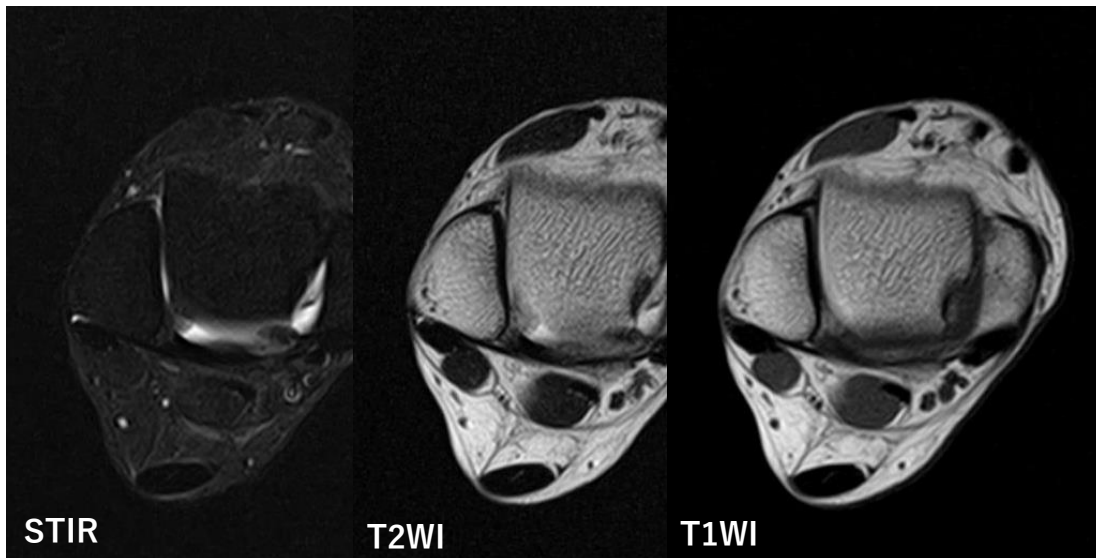
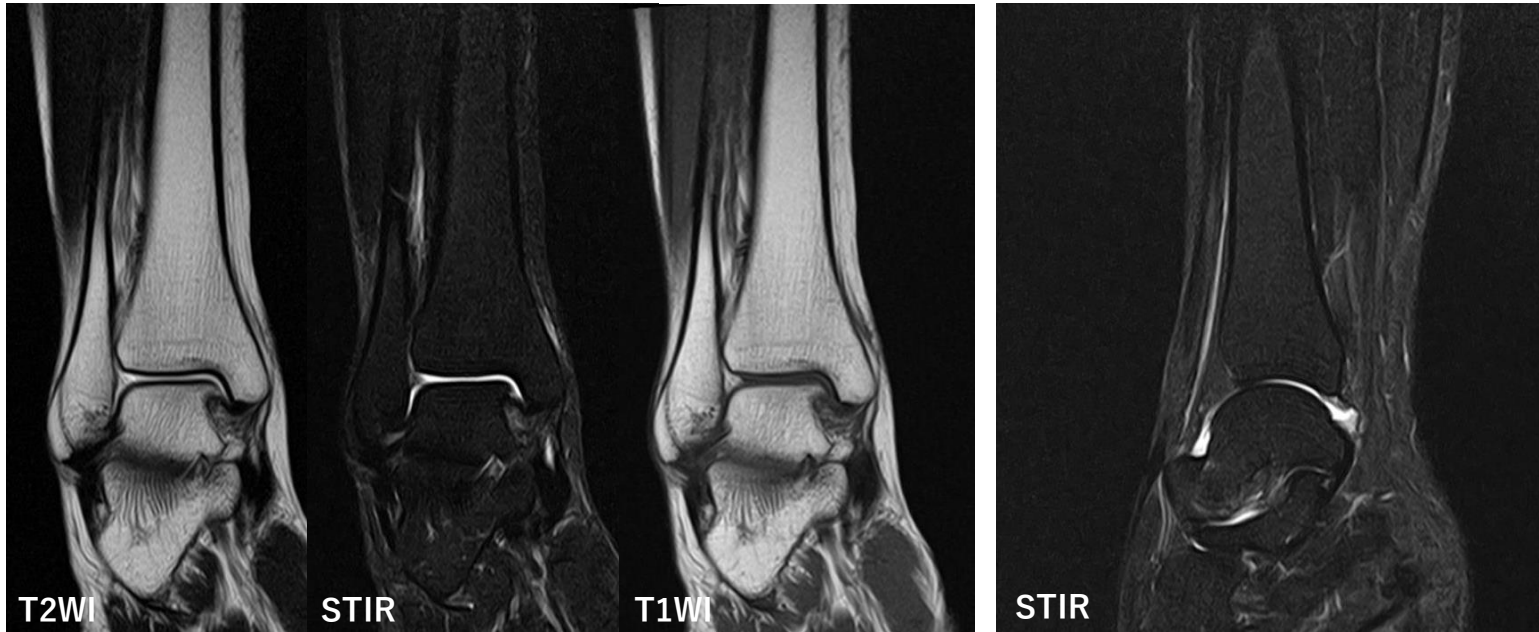


膝ルーチン



ACL損傷疑いの場合はACL損傷疑い用T2Sagを追加
ACL損傷を疑う場合は検査目的に記載をお願いします

足関節ルーチン



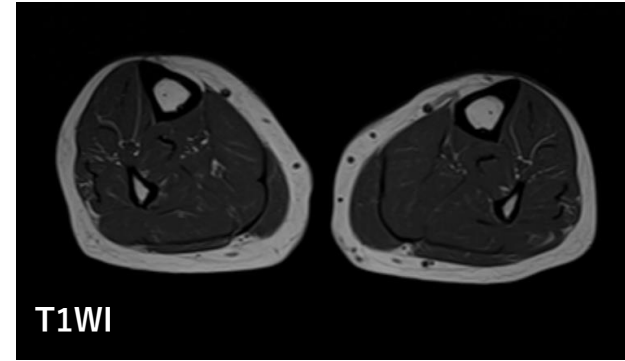
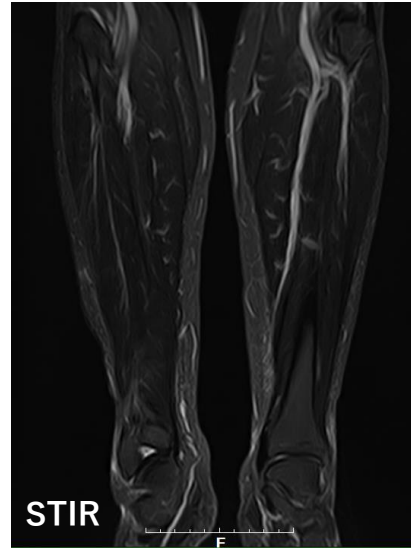
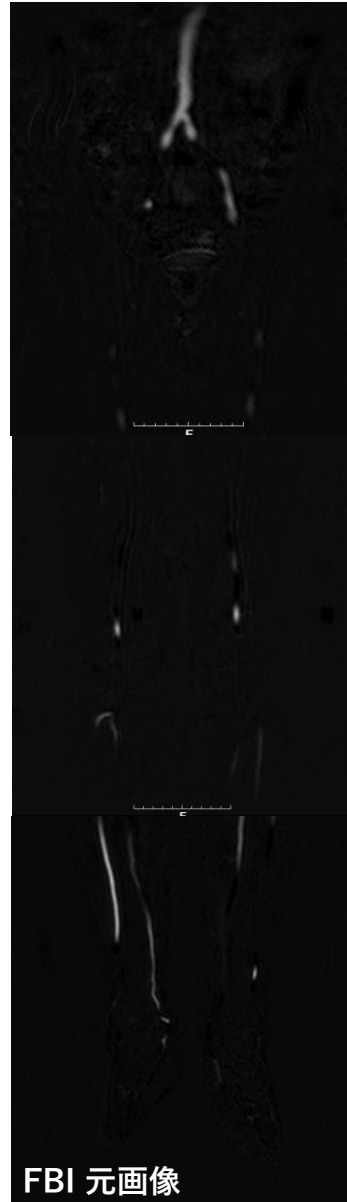
ルーチン以外で追加シーケンスがある場合は
特記事項として記入下さい

(ex.PDWI Sag追加、薄めで撮像して下さい)

必要に応じて省略して撮像することも可能です
優先的に撮像して欲しい条件は検査依頼に記入
して下さい

(ex.脂肪抑制T2強調像、T1強調像のみで)

下肢動脈

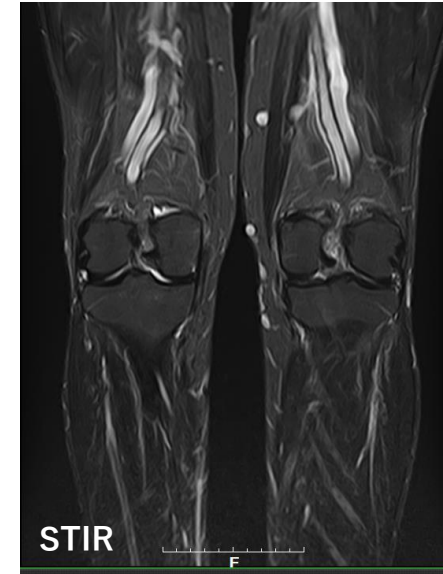
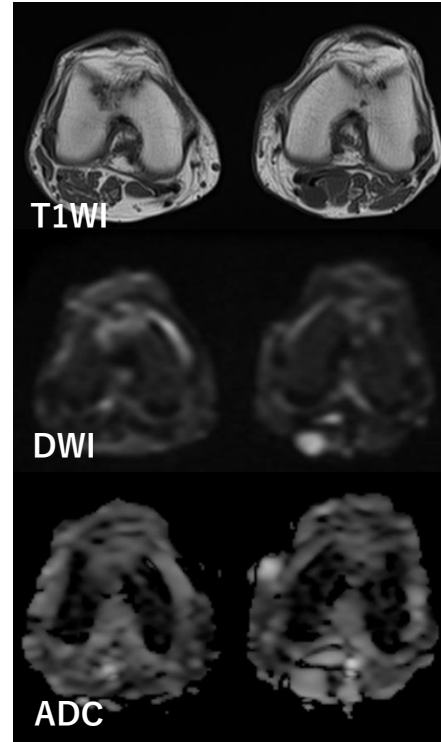
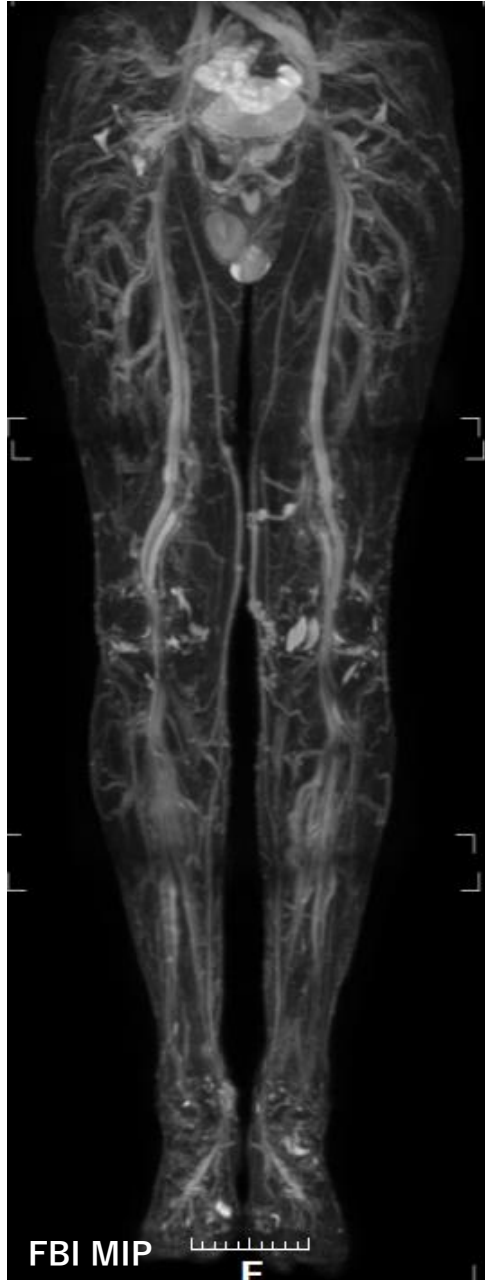


下肢動脈は基本的にFBI法を利用して撮像します。
短時間で検査を終了させたい場合などは他の方法もありますのでご相談下さい。
塞栓部位などがありましたら必要に応じてT1WIやDWI、STIRなど追加撮像を行います。

FBI法とは
心電図同期を利用し拡張期（動静脈画像）と収縮期（静脈画像）を取得し、その差分を利用して動脈を描出する方法

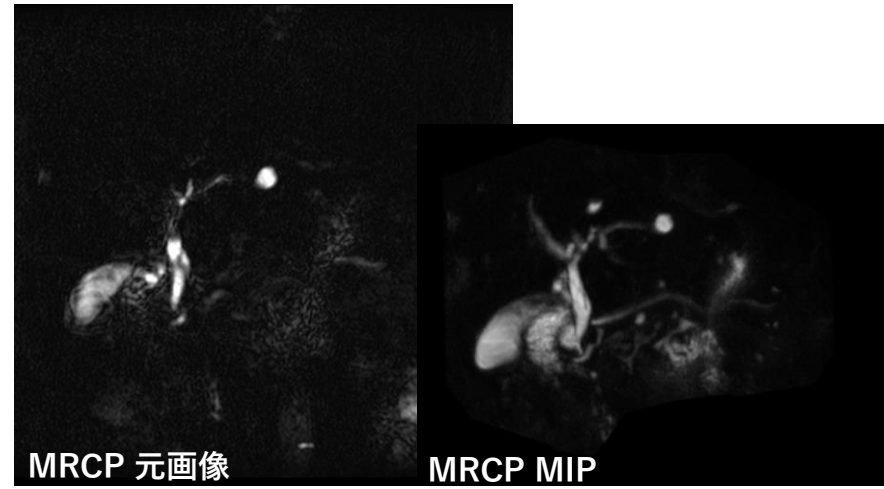
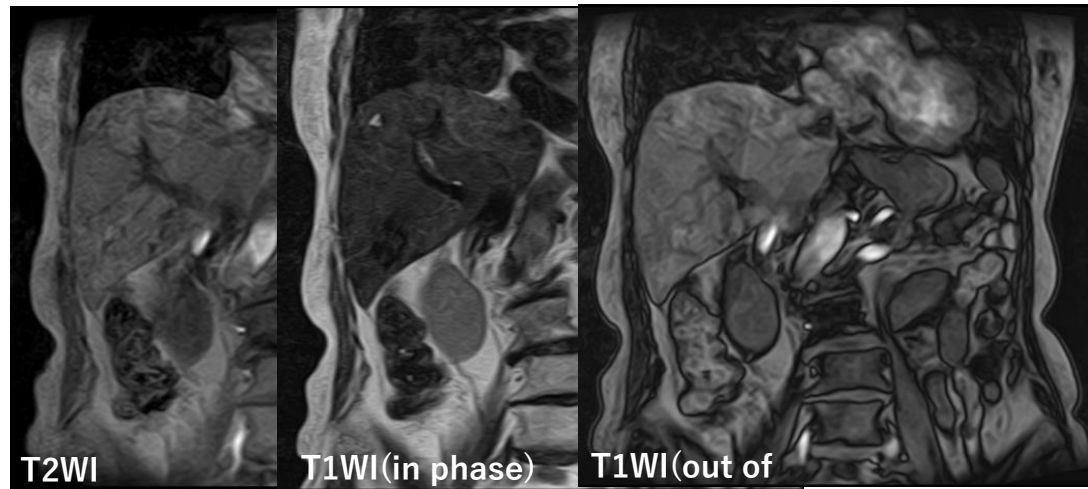
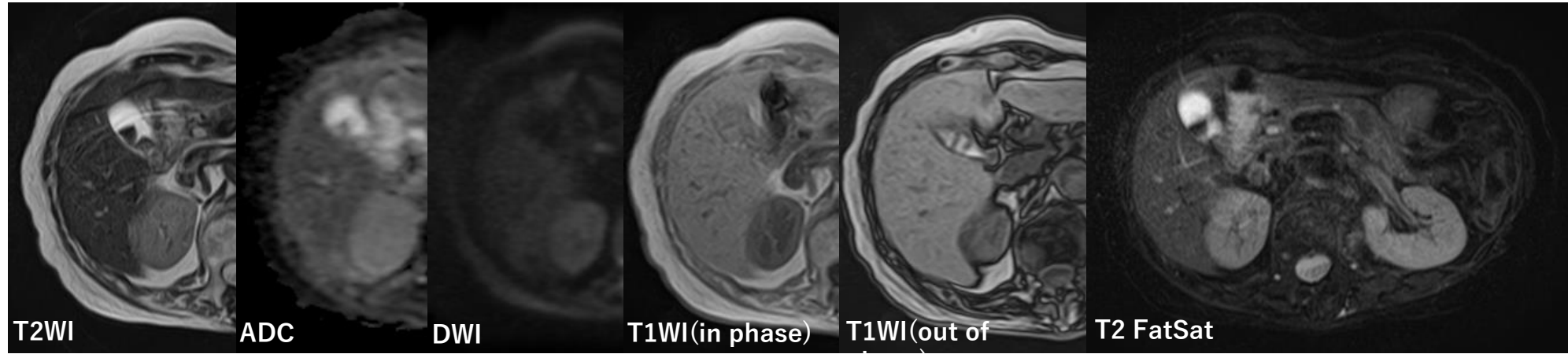
不整脈などがある場合は磁化率強調像を応用した方法で同期をかけずに動脈画像を取得することも可能です。

下肢静脈



下肢静脈は基本的にFBI法の収縮期（静脈画像）を撮像します。塞栓部位などがありましたら必要に応じてT1WIやDWI、STIRなど追加撮像を行います。

腹部単純



基本的にMRCPも撮像しています。